

砂の器 (1974)

メディア 映画
ジャンル サスペンス ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 143分
初公開日 1974/10/19
公開情報 松竹
映倫 G
リバイバル 2005/06/18 [松竹] デジタルリマスター版)

【キャッチコピー】

(リバイバル時)

美しくも哀しい人間の「宿命」

【解説】

松本清張の同名小説を、野村芳太郎監督、橋本忍・山田洋次脚本で映画化した社会派サスペンス。迷官入りと思われた殺人事件を捜査する二人の刑事の執念と、暗い過去を背負うがために殺人を犯してしまう天才音楽家の宿命を描く。ある日、国鉄蒲田操車場構内で扼殺死体が発見された。被害者の身許が分からず、捜査は難航した。が、事件を担当した今西、吉村の両刑事の執念の捜査がやがて、ひとりの著名な音楽家・和賀英良を浮かび上がらせる……。2005年6月、デジタルリマスター版にてリバイバル上映。

【クレジット】

監督	野村芳太郎		
製作	橋本忍	Shinobu Hashimoto	
	佐藤正之		
	三嶋与四治		
製作補	杉崎重美		
企画	川鍋兼男		
原作	松本清張		『砂の器』
脚本	橋本忍	Shinobu Hashimoto	
	山田洋次		
撮影	川又昂		
美術	森田郷平		
衣裳	松竹衣裳株式会社		
編集	太田和夫		
音楽監督	芥川也寸志		
演奏	東京交響楽団		
作曲・ピアノ演奏	菅野光亮		
指揮	熊谷弘		
照明	小林松太郎		
出演	丹波哲郎	Tetsuro Tamba	今西栄太郎
	加藤剛		和賀英良

森田健作		吉村弘
島田陽子	Yoko Shimada	高木理恵子
山口果林		田所佐知子
加藤嘉		本浦千代吉
春日和秀		本浦秀夫
笠智衆		桐原小十郎
松山省二		三木影吉
内藤武敏		捜査一課長
春川ますみ		扇屋の女中澄江
稲葉義男		捜査一係長
花沢徳衛		昔の三木の同僚安本
信欣三		国語研究所所員桑原
松本克平		三森署署長
浜村純		巡査
穂積隆信		新聞記者松崎
山谷初男		岩城署署長
ふじたあさや		鑑識課技師
菅井きん		山下・お妙
野村昭子		若葉荘の小母さん
今井和子		亀嵩の三木の妻
猪俣光世		バー・ロンの女給A
高瀬ゆり		バー・ロンの女給B
後藤陽吉		西蒲田署の刑事筒井
森三平太		岩城署刑事
今橋恒		朝日屋の主人
櫻片達雄		世田谷の外科医
瀬良明		扇屋の主人
久保晶		世田谷の巡査
中本維年		恵比須町の警官
松田明		浪花区役所係員
西島悌四郎		西蒲田署署長
土田桂司		西蒲田署刑事課長
丹古母鬼馬二		西蒲田署刑事B
高橋寛		西蒲田署刑事C
渡辺紀行		西蒲田署刑事D
山崎満		西蒲田署刑事E
北山信		西蒲田署刑事F
千賀拓夫		西蒲田署刑事G
浦信太郎		西蒲田署刑事H
菊地勇一		和賀の友人
今井健太郎		警視庁刑事A
山本幸栄		警視庁刑事B
小森英明		警視庁刑事C
水木涼子		亀嵩の農家の主婦
戸川美子		慈光園の係員

佐分利信
緒形拳
渥美清

田所重喜
三木謙一
ひかり座の支配人